

まちの話題

全国地芝居サミット in やぶ

〜葛畑のオンリーワンを全国に〜

全国の農村などで演じられてきた「地芝居」を現在に伝え、支える人々の交流と地域文化の振興をめざして全国の伝承地を会場に毎年開催されている「全国地芝居サミット」が、6月9日〜10日、養父市葛畑にある国指定重要有形民俗文化財の「葛畑の舞台（芝居堂）」で開催されました。

サミットには、各地の地芝居の保存会22団体が参加し、地元の「せきのみや子ども歌舞伎クラブ」による葛畑三番叟で幕を開けました。基調講演では、元NHKアナウンサーの葛西聖司さんと子ども歌舞

伎の振り付けを指導する松竹関西演劇部の水口一夫さんが対談し、「自然を楽しみながら、歌舞伎を演じられる舞台がいい。歌舞伎を養父市の活性化につなげてほしい。」と話しました。

10日は、愛知県豊田市、岡山県奈義町、兵庫県佐用町から参加した歌舞伎クラブと地元クラブ、4団体の公演が行われ、参加者らは、子どもたちが演じる歌舞伎に感動し、満場の客席からは、感嘆の拍手が鳴り響きました。

愛知県から出演された小原歌舞伎の河合淳之介君（14）は、「自然を見ながら、盛大に歌舞伎ができてうれしかった」と話していました。

ボーイスカウト養父第1団 結成60周年記念式を開催

6月10日、養父公民館において日本ボーイスカウト兵庫連盟但馬地区活動振興大会ならびに養父第1団結成60周年記念式が開催され、但馬内のボーイスカウトおよび関係者200人が参加しました。

養父第1団は、旧養父町で昭和27年に正式に結成が認められ、以降、青少年活動を通じ、多数のスカウト、指導者を社会に輩出してきました。

この日は、60年前に最初のスカウトであった2人も参列し、記念の杖を受け取りました。午後からは、養父体育館に舞台を移し、

キャンプファイヤーに見立てた木組みと照明の炎を囲み、歌やゲーム・スタンプで楽しみました。参加した子どもたちはお互いの友情を確認していました。



但馬中の隊旗が集う



「時のウィーク2012」で『やまのまち養父』をPR!

「うみのまち明石」と「やまのまち養父」とは、交流協定を結んでいます。6月10日、明石公園で、イベント「時のウィーク2012」が開催され、養父市からも出店参加しました。

会場では、蔵人の会の協力を得て、新鮮野菜や朝倉山椒の佃煮、加工品など特産品の販売を行いました。

また、今秋北近畿豊岡自動車道に開設する八鹿氷ノ山インターを紹介した缶バッジとチラシを配布しながら、市内のイベントや観光スポットをPRしました。

一緒に参加したやっぷーは、「かわいい!」と明石の子どもたちにも大人気で、PRに一役買ってくれました。

会場では鉄砲隊の演舞もあり、大勢のお客さんで賑わいました。

都市との交流

よしもと47ご当地市場で新鮮野菜販売

阪神間から養父市への観光誘客を図るため、大阪市のなんばグラウンド花月「よしもと47ご当地市場」にて、観光PRイベントが6月7日、8日の2日間行われました。

「よしもと47ご当地市場」とは、全国の名産品を買うことができるとご当地ブースのことで、(株)よしもとクリエイティブエージェンシーが運営する日本最大級の新しい物産展として誕生しました。

この度、モンスターエンジン大林さんの観光大使就任が縁で、やぶ市観光協会が、都会の多くの方に養父市を知ってもらおうとない機会となりました。市内で朝採りされたホウレンソウやカブなど多くの新鮮野菜を店頭に並べ販売をする機会を得ました。よしもと芸人「おいでやす小田」さんも店頭にたたれ、野菜の販売を通して、訪れた方々に養父市のPRをされていました。

新鮮野菜も大好評!



「やっぷー」かわいい!

拝啓 市民の皆様

6月9日〜10日、関宮葛畑の芝居堂(国指定重要有形民俗文化財)において、全国地芝居サミットが、全国の地芝居を継承する多くの団体等の参加により盛大に、賑やかに開催されました。

地芝居とは劇場で専門の役者が演じる大芝居と違い、各地の祭礼において農村舞台や曳山屋台の上などで地元の人々によって演じられてきた伝統的なふるさとの歌舞伎のことを言います。しかし、この伝統は少子化・高齢化による後継者不足や財政的な問題などから継承が危ぶまれています。

サミットでは関係者が各地に伝わる地芝居の伝承のあり方と、美しい日本の伝統文化である地芝居という地域の宝を上手く生かしていくかに地域の活性化を図るかについて、熱い思いを語り合いました。元NHKアナウンサーの葛西聖司さんと関宮子ども歌舞伎の指導者である松竹株式会社関西演劇部の水口一夫さんによる、軽妙洒脱で分かりやすい地芝居の価値についての基調講演と、各地の子ども歌舞伎の実演により盛り上がりしました。葛西さんは、条件が悪い時ほど「しめた、チャンスである」との前向きな思考と、いま田舎は都会があこがれる文化の宝庫であり、誇りを持ってオンリーワンを目指すことの大切さを話され興味深く聞きました。

養父市は「人と自然と文化を活かし、多くの人が訪れるまちを」をまちづくりの大きな柱にしています。多くの伝承芸能や伝統文化を擁しています。これらの継承と活用を関係者や市民との協働により進め、活力あるまちづくりを行います。地域色豊かな中身の濃い全国地芝居サミットでした。

市長 広瀬 栄